

## 技術提案書作成要領

- (ア) 本協議会の提示する標準案に基づいて、設計・施工計画（工程表）、入札価格の提示を行う場合は、技術提案書の作成は不要とする。
- (イ) 技術提案がある場合、下記の3点を提出する。
- ① 技術提案書（様式第4-1号）
  - ② 耐震改修工法についての技術提案（様式第4-2号）
  - ③ 耐震改修予定箇所のわかる図面等（任意書式）
- (ウ) 様式第4-2号（耐震改修工法についての技術提案）について記載する内容及び記載方法は次のとおりとする。
- ・ 提案は、基本的な考え方を文章で簡潔に記述する
  - ・ 文章を補足するために必要最小限の図、表及びイラスト等を使用して良い。
  - ・ 記入する文字の大きさは11ポイントとし、必要に応じて行の追加をして良いが、3枚以内にまとめる。

## ○記載事項の例（様式第4-2号）

- ・ 現状の耐震安全性に対する考察と基本方針
- ・ 提案する耐震工法とその特徴及び提案理由
- ・ 地下1階、地下2階、それぞれに導入する補強部材等の具体的な仕様を示すと共に、配置状況について明示する。
- ・ 居ながら工事における施設への影響、利用者への配慮について記載する
- ・ 要求水準書に示す耐震性能の目標値に対する達成見込みについて
- ・ 非構造部材の補強について、構造部材の耐震補強と併せて行うべきものがあるれば、その内容や理由等を示す。
- ・ 補強部材の設置等に伴う内外観の変化について記載する

- (エ) 耐震改修予定箇所のわかる図面等（任意書式）については、任意書式とし、枚数等の指定はしない。
- (オ) 提出書類について、この書面及び別添の様式に示された条件に適合しない場合は、無効又は減点の対象とすることがある。
- (カ) 提出部数は、それぞれ3部とする。